

東日本大震災から2年 道路防災講演会「大規模災害に備える！」

主催：国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
開催日時：平成25年2月5日（火）13:30～16:00

共催：静岡市 後援：静岡県
会場：しずぎんホールユーフォニア

静岡国道事務所では、東日本大震災の記憶と教訓を市民の方々と共有し、地域の防災力の向上にむすびつけたいとの思いで「大規模災害に備える！」と題し、開催しました。

■講演会の様子



280名の聴講者にご参加頂きました



静岡市 山本副所長による開会挨拶



「南海トラフ巨大地震への備え（静岡県版くしの歯作戦）」

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所長／西村 徹

【内容】東日本大震災に学ぶべき教訓

- ・南海トラフ巨大地震における被害想定
- ・連携した初動対応・復興支援（「静岡県版くしの歯作戦」）、耐震補強等の道路防災機能の強化、道路啓開訓練等の行動の防災力強化が重要
- ・震災の教訓を後世に伝える、明日に備えることが大切



「静岡市避難および早期道路啓開社会実験実施状況について」

静岡市建設局道路部長／松浦 和彦

【内容】2012年12月2日に実施された避難および早期道路啓開社会実験の報告

- ・建設中の高架橋について津波避難場所としての活用の有効性と今後の活用に向けた課題
- ・大谷地区における早期道路啓開実施にあたっての課題



「静岡大学防災総合センターの取り組み」

静岡大学防災総合センター長／増田 俊明

【内容】静岡大学防災総合センターによる教育・研究事例

- ・教育事例…「静岡大学防災マイスター制度」、「防災フェロー養成講座」等
- ・研究事例…過去に静岡を襲った大津波の痕跡調査、津波シミュレーション、静岡市中島地区での避難訓練においてGPSを使った追跡調査の紹介等

■パネル展示とDVD上映の様子

会場ロビーにて、減災・防災への国土交通省の取り組み紹介パネル（25枚）展示および映像「南海トラフ巨大地震と防災活動」を上映

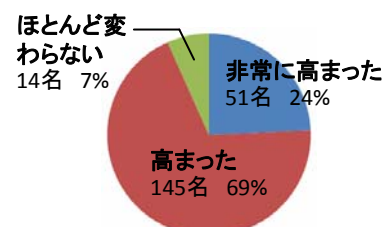


■アンケート結果を紹介します

約8割のみなさまから防災意識が高まったとのご回答をいただきました。

- ・官民一体となった日頃からの備えが必要だと思う。
- ・非常に分かりやすく、東日本大震災の衝撃と南海トラフに向けた防災の必要性を痛感した。
- ・動画での紹介は非常にインパクトが強かった。
- ・静岡大学増田防災総合センター長の講演が研究内容等興味深かった。

Q. この講演会にご参加いただいて、巨大地震に備える意識は高まりましたか。



アンケート回収数 214名